

しまねろうふく

2009.4
Vol.366



親子ふれあい障子貼りボランティアの様子(益田地区労福協)

〈目次〉

- 益田地区労働者福祉協議会のPR …2
- 西部労福協第29回研究集会の報告 ……3
- 全労済在宅介護サービスセンター ……4
- 県労福協幹事会、学習会開催「NPOについて」 …5
- ろうきん NPO立ち上げを支援 ……6
- 島根県議会議員・県生協連懇談会を開催 …7
- 各地区労福協活動のご紹介 松江・雲南地区 …8

特集

益田地区労働者 福祉協議会のPR



次回は 6月1日(月)発行です

益田地区労働者福祉協議会のPR

益田地区労働者福祉協議会 事務局長 岩本 辰彦

皆さん、こんにちは。

私は、益田地区労働者福祉協議会で事務局長の任を仰せつかっております岩本と申します。出身単組は自治労益田市職員労働組合で財政部長をしています。益田地区労福協では、これまでも幹事の皆さんとともに様々な労福協活動を行っていますが、主に【労福協運動の育成強化】【文化・スポーツ・レク活動】【ボランティア活動その他】といった取り組みを行っています。

まず、労福協運動の育成強化ということで、制度改善・政策及び財政の確立のため、毎年益田市に対し「労働者福祉に関する要望書」を提出し、対市長回答交渉を実施しています。例年「要望の趣旨に沿うよう努める。」といった前向きな回答をいただいておりますが、中には市民生活に直結する要望もあり、これらの着実な前進に向けた運動の強化が求められています。今後も県労福協との連携を深めながら制度改善・政策及び財政の確立に向けた要望内容の検討を行い、行政サイドへの働きかけを進めていきたいと思っています。

文化・スポーツ・レク活動では、地区労福協に結集する会員の交流と親睦を深め、労福協運動を拡大するための一環として、ボウリング大会、囲碁・将棋大会、ラージボール卓球大会を毎年開催しています。ボウリング大会については、2008年度で第10回を数えることとなりましたが、大変にぎやかな大会となっています。そのほか、囲碁・将棋大会、ラージボール卓球大会は、益田地区労福協設立の頃から行われている老舗行事であり、毎年参加者の白熱した試合が展開されています。

ボランティア活動では、地域貢献活動の一環として独居老人宅の障子貼り替えを行う「親子ふれあい障子貼りボランティア」を、さわやか部会を中心に益田市社会福祉協議会・

連合益田地域協議会と連携しながら取り組みを行っていますが、これも毎年好評をいただいております。今後もさわやか部会を中心に、関係諸団体との連携を密に図りながら、地域とのふれあい・親子間のふれあいを強めるため、福祉・ボランティア活動を進めたいと考えております。

その他の活動としては、勤労者の福祉向上に関する活動の一環として、市内法律事務所にて「無料法律相談所」を開設しました。今年も多くの方から相談が寄せられており、勤労市民が抱える様々な問題の解決への一助となるよう、本無料法律相談事業は今後も継続していきたいと考えています。

国際交流事業については、益田市が中華人民共和国浙江省寧波市と1991年に友好交流議定書を締結したことに合わせ、地区労福協としても友好交流議定書を締結し、市とともに国際交流活動を行ってきました。そのほか、勤労者の生活に関わる様々な問題に対する解決策等を学習していただくため毎年勤労者福祉研修会を開催しています。また、勤労者福祉の向上を目的としている労福協運動の活動母体である「ろうきん」「労済」運動についても、労金部会・労済部会を中心に活動を展開しています。

現在、益田地区労福協の財政状況は厳しい状況にありますが、財政基盤の確立はもちろんのこと、今後も労福協活動の目的である勤労者福祉の向上につながる様々な活動を展開し、一人でも多くの未組織労働者や市民の方々が参加できるよう努力し、また、今後も労福協運動が益々発展することを願って、益田地区労福協の活動報告とさせていただきます。



種々雑感 「しまねろうふく」投稿

「許せる冗談」

副会長 石塚 博



最近ある本に面白い話として載っていましたのでご紹介いたします。

- 家族揃って夕食をとっているとき、何かの拍子に怒った父が、「誰のおかげでメシが食えると思ってるんだ」と言おうとして、「誰のためにメシ食ってんだ!」と怒鳴った。私と姉は「自分のためだよ」と答えた。
- 夫婦ゲンカするとき、父が母に「バカモノ!」と言うのを間違えて、「バケモノ!」と怒鳴ってしまった。ケンカはさらにひどくなった。

●理髪店で中学生が「少し長めにしてください」と頼むと、主人が「耳はどうしますか」と聞き返した。中学生は少し考えて「切らないで下さい」と言った。

●ある日、会社で肴を持ち寄って宴会をしたときのこと。刺身のトレイの中にわさびが見あたらずに中身をひっくり返したら、ツマの下に埋もれていた。僕は、軽い冗談のつもりで「ツマの下敷きなんて、うちと一緒だ」と言ったら、一同静まり返ってしまった。

●うちの母は当時4歳の弟に「ママは18歳」といっていたら(本当は37歳)弟は幼稚園のみんなにそれを言ってまわってしまい、お迎えに行ったとき、新米先生が「あの～お母さま、18歳なんですか?」とマジな顔で聞いてきたそうです。

殺伐とした世の中、何かほっとしませんか?



西部労福協第29回研究集会の報告

= 地元 島根県・松江市で開催される!! =

報告者 島根県労働者福祉協議会

3月5日(木)～6日(金)にかけ、西部労福協第29回研究集会が松江市「東急イン松江」において中国・四国の9県労福協から80名の参加により盛会に開催されました(島根県からは県労福協役員をはじめとする25名が参加)。

集会は午後2時に小川会長の主催者挨拶に続き、開催県であります島根県労福協・大崎会長より歓迎の挨拶がなされ、島根県知事より祝辞(雇用政策課・橋本上席調整監の代読)、松江市長より祝電が披露されました。

初日の基調講演では、「高金利引き下げを求める理由・被害の実情」と題して、司法書士・余村博樹氏の講演の後、司法書士で結成されている「NPO法人リーガルネットワークしまね」による「身近に潜む危険なワナ・きちんと見分けて賢い消費者に」と題し、実際の相談事例・被害事例を再現した課程を演じていただき、参加者の皆さんからは素人とは思えない演劇で、大変面白く分かりやすい内容だったと大変好評でした。

記念講演では、益田市で松本医院を開業されている松本院長より、「いつもニコニコストレスフリー」と題して、うつ病の早期発見やストレス解消法など、ユーモアを節々に交えてのお話も大変好評でした。

2日目は、島根大学・上園准教授より連合島根・組合員15,700名の生活実態調査の分析結果について講演をいただきました。その後、鳥取県労福協・前田副理事長より「中央労福協・第40次欧州労働者福祉視察」についての報告があり、2日間の研修は無事に終了しました。



▲ 小川会長



▲ 橋本上席調整監



▲ 余村司法書士



▲ 演劇の様子



▲ 松本先生



▲ 上園准教授



▲ 前田副理事長



▲ 会場の様子



ほほえみ

全労済在宅介護サービスセンター

— 心を大切に笑顔でふれあい —

介護なんでも相談

困ったな～、どうしよう？

と思ったら・・・まず電話！！

0852-52-6310



居宅介護

在宅で高齢者を介護されている家族の、介護や福祉サービスなど、介護に関するご相談をお受けします。

介護相談

ご家族が安心して暮らせるように、介護の仕組みや悩み・不安など、介護についての総合的な相談に支援専門員が応じます。

福祉サービスの紹介

ホームヘルプサービス・デイサービス・入浴サービス等の紹介をします。

サービスの調整

高齢者が、必要な福祉サービスが受けられるよう関係窓口との連絡調整をします。

申請の代行

介護保険の申請手続きの相談・代行業を支援専門員がお受けします。

デイサービス

介護認定を受けている高齢者がサービスセンターへ通所し、高齢者とスタッフが共に交流し、楽しい時間を過ごしていただきます。

健康チェック

看護師が、毎回血圧測定等の健康チェックをします。

入浴

明るい浴室で、介助員が入浴のお手伝いをします。

給食

栄養士の献立・センター内での調理により、作り立てのおいしい食事を提供します。

日常生活動作の援助

レクリエーション・体操・趣味活動を通じ身体機能の維持に努めます。



ほほえみ

全労済在宅介護サービスセンター

〒699-0110

島根県八束郡東出雲町錦新町8丁目1番1号

TEL(0852)52-6310 FAX(0852)52-6910

[松江]

〒690-0006

島根県松江市伊勢宮町543番地3(労済会館別館)

TEL(0852)27-1526 FAX(0852)27-1670

ホームヘルプサービス

ホームヘルパーが家庭を訪問し、日常生活上のお世話をいたします。

家事援助サービス

●掃除、整理整頓 ●調理

●必需品の買い物 ●洗濯

●布団干し など

身体介護サービス

●入浴介助 ●おむつ交換

●食事介助 など



福祉用具レンタルサービス

福祉用具貸与サービス

車椅子、ベッド等の福祉用具の利用相談及び貸与について専門相談員が行います。

●車椅子 ●車椅子付属品 ●特殊寝台

●特殊寝台付属品 ●床ずれ防止用具 ●体位変換器

●手すり ●スロープ ●歩行器 ●歩行補助杖

●認知症老人徘徊感知機器

●移動用リフト
(つり具部分を除く)



全労済島根県本部

2009年4月1日

人事異動のお知らせ

【転出者】

和田三喜夫…西日本事業本部へ

黒飛 雅明…広島県本部へ

酒井 克仁…東京本部へ

福田 重広…広島県本部へ

【転入者】

小笠原 悟…福岡県本部より

吉岡 清…西日本事業本部より

林 正浩…富山県本部より

ただいま

保障の無料点検相談実施中!

ぜひこの機会に、あなたも一度
保障を点検してみてください。

点検方法は全労済までご連絡ください。

全労済は、富利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資金をお支払いいただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活共済組合連合会

県労協幹事会、学習会開催 2009年2月23日

『NPO について』

講師 樋口 和広 氏 (財団法人 ふるさと島根定住財団)



多重債務問題やワンストップサービスなどでNPOとの協働を実践している県労協は、2月23日に開催した幹事会で、NPOについて研修を行いました。

講師の樋口氏からは、社会がNPOを必要としている背景や、具体的なNPOの活動が紹介されました。

この研修で、労協運動がNPOと協働することが社会的役割の発揮にとって重要な課題であることを確認しました。

また、中国ろうきんからは協働のひとつである『NPO寄付システム』への協力と参加があり、各地区で取り組むこととしました。

樋口さんからの提案

1. NPOをつかう

NPOのサービスを利用する。

3. NPOに参加する

NPOの会員になる。ボランティアをする。

NPOを通して

地域づくりに参画する

2. NPOを支援する

NPOに寄付をする。

4. NPOを作る

NPOを設立する。

『高校生のための消費者講座』県内11校で開催 (県労協主催)



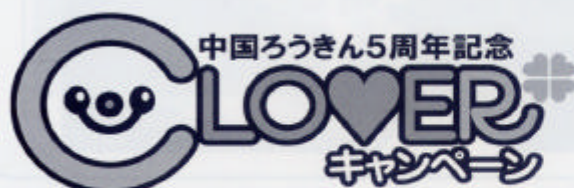
労金職員が講師に

県労協が主催する2008年度の「高校生のための消費者講座」が県内11校で開催されました。昨年11月に県消費者センターの協力を得て開催した講師養成研修を受講した労働金庫職員が講師となり、社会人や大学生となる高校3年生を対象に、緊張した面持ちながら多重債務や消費者トラブルについて分かりやすく説明しました。

開催した11校には3回目となる常連校に加え今年度初めて依頼のあった高校も5校あり、労協主催のこの講座も少しずつ浸透してきています。

開催にあたっては地区労協からも学校に出向き、労協活動も説明も行ってきました。

開催日	学校名
11月12日	松江南高校
1月16日	浜田高校今市分校
2月 3日	川本高校
2月 4日	大社高校
2月 9日	遼摩高校
2月10日	平田高校
2月13日	横田高校
2月17日	松江工業定時制
2月19日	邑智高校
2月27日	出雲高校定時制
3月 4日	松江市立女子高



特典・サービスを満載して
展開中

3月31日まで



中国ろうきんは2月26日、NPO立ち上げ助成制度の第2次選考会を開催し、応募11団体の中から3団体に助成することを決定しました。2004年度から開始した助成金制度は中国5県で総額300万円、島根県内の団体には総額40万円を助成しています。



第2次選考会

当日、応募書類により選考された3団体が第2次選考会に出席し、プレゼンテーションと意見交換がおこなわれました。

助成先団体と活動

NPO法人 松江嫁島（松江市嫁島町）
精神障害者の就労支援と社会参加の促進

NPO法人 やさか風の里（浜田市弥栄町）
障害者の交流の場と社会参加のための作業所運営

NPO法人 大田ルーテル・ラプリー
児童クラブ（大田市大田町）
昼間に保護者のいない児童の放課後の預かりの場の提供

NPO寄付金、6団体に総額30万円を贈呈 （中国ろうきんNPO寄付システム）



ふるさと島根定住財団が事務局を担当する「中国ろうきんNPO寄付システム」の2008年度贈呈式が3月2日、中国ろうきん島根県営業本部で開催されました。ろうきん利用者からの寄付金をを贈るこのシステムは2008年度で3回目となります。2008年度の募集には11団体から応募があり、選考の結果、5分野6団体にそれぞれ贈呈しました。

寄付先団体

NPO法人 カウンセリング出雲（出雲市）
NPO法人 ぽんぽん船（出雲市）
NPO法人 あしぶえ（松江市）
NPO法人 もりふれ倶楽部（出雲市）
NPO法人 しまね子どもセンター（大田市）
NPO法人 浜田おやこ劇場（浜田市）

労金運動推進に向けて県内各地区から集い、研修 2008年度島根県推進機構代表者集会を開催

2月20日、松江テルサにおいて中国労金島根県推進委員会（各地区ろうきん部会長）主催の第5回推進機構代表者集会が開催されました。研修では中央講師団講師の景山氏（松江地区推進委員長）が講師を務め、グループ・ワーク・トレーニング（G. W. T）を手法として取り入れ、地域や職場で今、労金運動として何ができるか等について熱心な討議が行われました。

参加者アンケートより

・時間が足りなかった。もう少し他の人の意見も聞きたかった。推進機構への意識がより高まった。



島根県議会議員・県生協連懇談会を開催

3月3日（火）に島根県議会議員の皆様と県生協連との懇談会が開催され、食の安全・安心の取り組み、環境、福祉など中心に意見交換が行なわれました。

島根県議会議事堂別館・第2会議室で開催された懇談会には、全会派から13名の議員の皆様と県生協連から7名が出席し行なわれました。

はじめに、鎌田会長より生協への認知度は高まってきており、さらに社会的役割も果たすために努力をしていきたい。今後、様々な取り組みを進めるうえで、県議会議員の皆様のご意見を伺い活動に活かして行きたいとの挨拶後、事務局より県生協連の取り組み状況や「地方の消費者行政の充実」へのご協力などについて報告し、懇談に入りました。



懇談会は、生協から餃子問題での状況報告や品質管理強化の取り組み、地産地消、高齢化社会に向けての取り組み、災害時での県の対応など報告し、生協だけで進めることが難しい問題も多いので、議員の皆様のご協力を是非ともお願いしたいとの意見が出された。

議員の皆様からは、餃子問題での進捗状況について、高齢化社会への問題、消費者被害、災害時での生協の役割、地球温暖化、助け合いの取り組みなどについて、意見が出されました。



【議員の皆様から出された主なご意見】

- ・島根は全国一の高齢化率となっており、行政だけでは対応策は不十分と考えている。生協の高齢化社会に向けた取り組みに今後も期待している。限界集落という表現もされているが、地域から商店が無くなって買い物に行けないなどの状況も聞いている。食の供給など行政との協同、協力しあって地域を守ることが必要と思う。生協の組織をあげた取り組みを期待したい。
- ・地球温暖化問題については、島根県地球温暖化議員連盟を立ち上げ取り組みを進めているが、学習会などの取り組みにも生協からは是非とも参加もお願いしたい。
- ・災害時での生協の役割に期待したい。
- ・中国餃子問題のその後の状況はどうなっているのか教えて欲しい。

【出席頂いた議員の皆様】

- | | | | |
|----------|---------------|-------------|----------|
| ○自民議員連盟 | ・多久和忠雄議員(副議長) | ・原成充議員(幹事長) | ・田中八洲男議員 |
| ○民主県民クラブ | ・石橋富二男議員(代表) | ・和田章一郎議員 | ・門脇誠三議員 |
| | ・白石恵子議員 | ・角 智子議員 | ・須山 隆議員 |
| ○無会派 | ・成相安信議員 | ・石倉俊紀議員 | ・尾村利成議員 |

〈各地区労福協活動のご紹介〉

今月号では松江地区・雲南地区労働者福祉協議会の活動の一部をご報告させていただきます

『勤労者福祉研修会 及び交流会』

松江地区労福協

実施日

2009年2月25日(水)

開催時間

18:30~21:30

会場

松江労働会館401会議室

参加者人数

61名

『最近の景気情勢』～現状と今後の展望～と題し日本銀行松江支店長野村幸男氏の講演を聞いた後、参加者交流会を行った。

講演では、海外経済の成長率・米国の住宅価格動向に始まり用意された指標を基に現状に至った経緯の解説や、山陰経済の状況にも触れ、最後に不況期こそビジネスチャンスでもあるとの話



勤労者福祉研修会

主催：松江地区労働者福祉協議会



から、参加者は逆風時こそ創意工夫の必要性を肝に銘じた。お札にまつわる話も聞け興味深くわかりやすい講演を聞いた。

交流会は、くじで席を決めたため複数参加の会員はバラバラになったが、それぞれのテーブルで和気あいあいの交流ができ概ね好評であった。

『スポーツ交流会 (ナイタースキー)』

雲南地区労福協

会員の健康増進や相互の親睦と連帯を深めることを目的に、スポーツ交流会を開催しました。前年度までボウリング大会をしていましたが、マンネリ化してきたため趣向を変えて、雲南地区にあるスキー場でのナイタースキー(ボード、そり)を計画しました。当日は会員はもとより家族での参加も多く、寒い中豚汁であったまり、9時まで時間一杯楽しむことができました。

実施日

2009年1月31日(土)

会場

琴引フォレストパーク

開催時間

18:00~21:00

参加者人数

218名



労福協とは…



労福協シンボルマーク



労働者福祉協議会の略称。この協議会は労働者福祉活動を総合的に推進し、構成団体間における福祉活動の連絡調整を図るとともに、関係事業団体の育成と強化、並びに労働者福祉全般について啓発、教育、宣伝活動を行い、労働者福祉の推進を図ることを目的に活動する任意団体です。